

## 船舶事故調査報告書

平成25年2月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄司 邦昭

委員 根本 美奈

事故種類	衝突（防波堤）
発生日時	平成24年7月8日（日） 20時18分ごろ
発生場所	広島県呉市呉港 <sup>ひろく</sup> 広区呉港 <sup>あが</sup> 阿賀沖防波堤 呉港阿賀沖防波堤西灯台から真方位062° 100m付近 （概位 北緯34° 13.2′ 東経132° 35.8′）
事故調査の経過	平成24年7月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 希、5トン未満 273-7135 広島、個人所有 8.29m (Lr) × 2.35m × 0.64m、FRP ディーゼル機関、132.40kW、平成5年10月
乗組員等に関する情報	船長 男性 39歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成16年11月22日 免許証交付日 平成21年11月21日 （平成26年11月21日まで有効）
死傷者等	軽傷 2人（同乗者）
損傷	本船 船首部圧壊 防波堤 なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者5人を乗せ、広島県廿日市市 <sup>はつかいち</sup> 巖島港を出港して呉市音戸ノ瀬戸を通過後、同乗者1人を下船させる呉港広区阿賀に向かった。 船長は、巖島港出港前に下船する同乗者から持参した海図で阿賀の着岸場所を知らされたものの、同海図で阿賀沖の水路調査を行っていなかった。 船長は、操舵室右舷側の操縦席に腰を掛けて目視で見張りに当たり、操縦席の左後方に下船する同乗者を立たせ、呉港広区に入航し、船首方の岸壁が表示されたGPSプロッター画面と着岸予定場所付近の明かりを見ていたが、針路上に何も障害となるものはないと思い、手動操舵により10～12ノットの対地速力で北北西進した。 船長は、阿賀沖に架かる阿賀マリノ大橋橋梁灯の緑灯に向けて航行

	<p>中、平成24年7月8日20時18分ごろ呉港阿賀沖防波堤（以下「本件防波堤」という。）の中央付近に衝突した。</p> <p>本事故当時、操舵室に2人及び船体後部座席に3人の同乗者がいたが、そのうち後部座席の2人が軽傷を負った。</p> <p>船長は、下船する同乗者に救急車の手配を頼み、阿賀の船だまりで負傷者を降ろして海上保安部と連絡を取り、自力航行で所属マリナーに戻った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p> <p>日没時刻：19時25分</p>
その他の事項	<p>本件防波堤は、阿賀東岸から約700m沖に広がる阿賀マリノポリスの埋立地区北岸から北方約300m付近に築造された長さ約280mの防波堤であり、真方位約058°方向に延びており、南端に呉港阿賀沖防波堤西灯台、北端に緑色の標識灯が設置されていたが、高潮時には本件防波堤が水面下になるような高さであった。</p> <p>船長は、本事故の2～3年前に呉港広区を昼間に1度入港した経験があったが、港内の様子については余り記憶がなかった。</p> <p>船長は、約10年前に中古船の本船を購入し、装備されていたGPSプロッターを使用していたが、データの更新が行われていなかったため本件防波堤は表示されていなかった。</p> <p>本件防波堤の存在について、下船する同乗者から船長に助言がなかった。</p> <p>本船には、レーダーがなかった。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、呉港広区を北西進中、船長が、出港前に海図等で予定航行経路の調査を行っておらず、また、GPSプロッター画面の船首方に岸壁付近しか表示されていなかったことから、針路上に何も障害となるものはないと思って航行し、本件防波堤に衝突したものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、夜間、本船が、呉港広区を北西進中、船長が、出港前に海図等で予定航行経路の調査を行っておらず、また、GPSプロッター画面の船首方に岸壁付近しか表示されていなかったため、針路上に何も障害となるものはないと思って航行し、本件防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSプロッター等の情報更新に努め、不慣れな夜間航海をする</li> </ul>

	場合には、出港前にGPSプロッター、海図等で予定航行経路の調査を行うこと。
--	---------------------------------------